

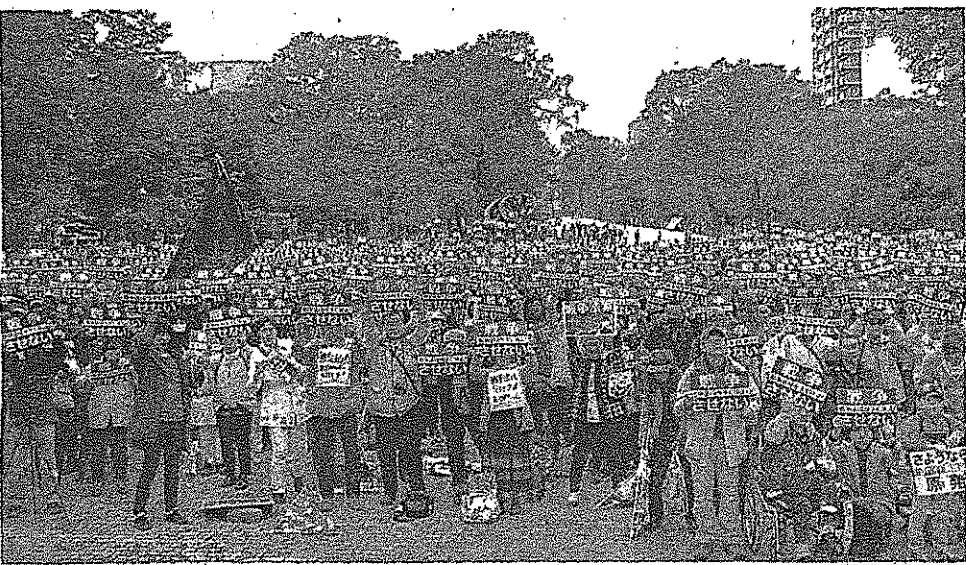
安倍政権倒せ 野党は共闘を

市民グループ共同集会

札幌

札幌市で10日、原発の再稼働反対の運動を続けてきた人々と戦争法廃止をめざす市民グループが共同で集会・パレードを行い、全道から3500人が参加。思いを一つに「安倍はやめろ」と声を上げました。

元経産省官僚の古賀茂明さんはスピーチで日本共産党の「戦争法（安保法制）廃止の国民連合政府」提案



「戦争法はやめろ」とアピールする人たち 10日、札幌市

戦争法を推進した人を降ろし、平和のためにたたかっただけに交代させよう」と氣勢を上げました。
9歳の子とも参加した関口哲生さん(41) 江別市は「私たちは民主主義を襲った安倍首相の強引なやり方を忘れません。共産党の言っている国民連合政府は実現してほしい」と話しました。

青年よびかけパレード

名古屋

「野党は共闘」コアベはやめろ」。名古屋市中区の繁華街で青年のコールが響きわたりました。青年団体が呼びかけて10日に開いた「ストップ・イット・アベ・ナゴヤアクション」です。



コールで街頭に訴える青年ら 10日、名古屋市中区

同アクションは昨年10月から始め今回が6回目。戦争法が強行されてから初めての行動です。

集会には、日本共産党の島津幸広衆院議員、たけだ良介参院比例候補、民主党の山屋志穂、里衆院議員、社民党の江南市議が参加。各党のあいさつに青年から「野党は手を取り合ってがんばれ」の大きな声援が湧き起こりました。

集会後には「憲法守れ」「NO WAR」と書いたボードや横断幕を持ち、ドラムを打ち鳴らしながらパレード。出発時は2000人ほどでしたが、次々と市民が飛び入り参加し、3000人を超える参加となりました。

アクションを準備した古川大暁さん(26)は「最初は何人が参加するか心配でした。前回より多く集まり、安倍政権に対する若者の怒りと戦争法廃止を求める声の広がりを感じました」。

大学3年の男子学生(分)は「総がかり行動実行委員会が提起した2000万署名に学内外で取り組みたい」と語りました。